

タビレットが変える議会の風景

伊豆市 (No.81)
議会だより

2024.8.1発行



本日のトピ！

議員定数削減！
代表質問開始

議案一覧『議会は可決・承認』

※詳細はホームページをご覧ください
録画配信はこちら▶



報告	専決処分の報告について ・伊豆市児童発達支援センター条例の一部改正 ・伊豆市水道事業の布設工事及び布設工事監督者の資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例の一部改正 ・物損事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定 令和5年度伊豆市一般会計予算の繰越明許費の報告について 令和5年度伊豆市水道事業会計予算の繰越しの報告について 令和5年度伊豆市下水道事業会計予算の繰越しの報告について
予算	専決処分の報告及び承認について（令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第1回）） 令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第2, 3回） 令和6年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）
条例	専決処分の報告及び承認について（伊豆市税条例の一部改正） 専決処分の報告及び承認について（伊豆市国民健康保険税条例の一部改正） 伊豆市中伊豆交流センター条例の全部を改正する条例の一部改正について 伊豆市営住宅条例の一部改正について 伊豆市駅前広場条例の制定について
その他	工事請負契約の変更について（新中学校建築工事） 財産の無償貸付の変更について（旧土肥小学校） 財産の取得の変更について（（仮）日向公園用地） 工事請負契約の締結について（（仮）危機管理センター建築工事） 財産の取得について（新中学校什器備品等）
発議	伊豆市議会委員会条例の一部改正について 伊豆市議会会議規則の一部改正について 伊豆市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

賛否が分かれた議案	小川多美子	浅田藤二	鈴木優治	飯田大	黒須淳美	下山祥二	杉山武司	星谷和馬	鈴木正人	間野みどり	波多野靖明	小長谷順二	三田忠男	永岡康司	杉山誠	議決結果
伊豆市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	可決

※議長（青木 靖）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
※本議案の討論は p.6 に一部掲載

令和6年伊豆市議会

6月定例会

会期：令和6年5月28日（火）～7月1日（月）

◆会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
5/27	28 本会議初日 各常任委員会 議会広報委員会	29	30	31	6/1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18 本会議2日目 （一般質問）	19 本会議3日目 （一般質問）	20 本会議4日目 （一般質問） 議会改革推進特別委員会 総務経済委員会	21 本会議5日目 （議案質疑） 議会運営委員会 全員協議会	22	23
24 教育厚生委員会 7/1 本会議最終日 議会広報委員会	25	26	27 議会運営委員会	28	29	30
	2	3	4	5	6	7



※会期日程以外の詳しい議員の活動はホームページに掲載
アクセスはこちら▶



要チェック議案

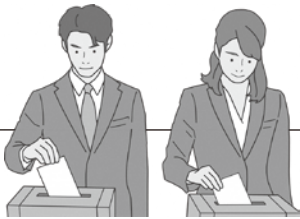


- ・議案第50号 令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第2回）
- ・発議第5号 伊豆市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について

令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第1回）

詳細

総務費：選挙費 【2,180万円】（県知事選挙費）



令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第2回）

詳細

※1万円以下は切り捨て

衛生費：予防費 他 【8,184万円】
（定期接種開始に伴う新型コロナウイルスワクチン接種事業費の増 他）
民生費：児童措置費 他 【7,210万円】
（児童手当制度改正に伴う、児童手当給付事業費の増）



令和6年度伊豆市一般会計補正予算（第3回）

詳細

※1万円以下は切り捨て

民生費：社会福祉総務費 他 【3億5,634万円】
（物価高騰対策重点給付金事業（補足・調整給付分）に係る事務費及び給付費の増）

6/20, 6/21・24

議案質疑 常任委員会



議案質疑

◆令和6年度伊豆市一般会計 補正予算（第2回）

質疑

Q 今後定期接種として扱う、新型コロナウイルススワクチンの対象者への接種案内の方法と、自己負担額、接種場所は。

A 対象者への接種案内は、個別に案内し、自己負担額は、3200円を予定しています。

接種場所は、今後アンケート調査を行い、実施が可能な医療機関での個別接種となります。接種案内に、お知らせを盛り込む予定です。



◆伊豆市中伊豆交流センター 条例の全部を改正する条例の 一部改正

質疑

Q 白岩の湯再開日の延長を、1年延長させたい根拠は。

A 配管の改修に必要な工事規模や、調査に必要な期間がわからない状態であったことから、仮置き期限として、1年延長としました。1日でも早い再開に向け、準備を進めます。

質疑

Q 温泉の使用を可能にするための、代替案の検討は。

A 近隣温泉事業者から配管供給の検討をしましたが、不具合箇所を発見できたことから、早期再開を目指し送湯管を修繕する方が適切であると判断しました。送湯管の管理を継続することの不安もあるため、別の配管供給も引き続き選択肢として考えていきます。

◆伊豆市駅前広場条例の制定

質疑

Q イベントでのキッチンカー使用手続きと、使用料の納付方法は。
A キッチンカーをイベントで呼ぶのであれば、主催者が一括で申請し、使用料を納付します。使用が独立したものであれば、それぞれ申請及び使用料を納付していただきます。

Q 牧之郷駅前広場の分割使用例と、設備拡充の計画を問う。

A 分割使用の場合は、ロータリー内の交通広場及び池の前の芝生広場を、別々に使用します。キッチンカーであれば、複数台利用することも可能です。



牧之郷駅前広場

総務経済委員会

◆伊豆市駅前広場条例の制定

質疑

Q （牧之郷駅前広場）賑わいの場として整備するなら、暑いときに日影はなく、ベンチの数も少ないように感じる。また、トイレが広場になが、地区から要望が出てきた場合、応えられるのか。

A 供用開始したばかりで、広場の利用もそれほど多くはないが、今後使用していく際に、要望が多いものについては検討し、極力実施できるようにしたいと考えています。



◆財産の無償貸付の変更 （旧土肥小学校）

質疑

Q 今回に至った経緯と、契約相手方は収益の確保はできているのか。

A 契約相手は、主に中古パソコンの販売や保守管理などを行う傍

教育厚生委員会

◆令和6年度伊豆市一般会計 補正予算（第2回）

質疑

Q 児童手当制度改正の概要説明を
A 令和6年6月から、子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律が施行され、児童手当の改正が含まれています。「所得制限の撤廃」「支給期間を高校生年代まで拡大」「第3子以上の支給額を3万円に増額」「支給回数等を年6回に増」の4点変更がありました。

Q 児童手当の改正により、対象者はどのくらい増えるか見込むか。

A 新たに追加される、高校生世代が約600人。第3子以降の増額対象者が453人。所得制限の撤廃による対象者が50人と計算しています。

Q 新型コロナウイルス予防接種健康被害認定により、健康被害認定されるまでの仕組みは。

質疑

Q イベントでのキッチンカー使用手続きと、使用料の納付方法は。
A キッチンカーをイベントで呼ぶのであれば、主催者が一括で申請し、使用料を納付します。使用が独立したものであれば、それぞれ申請及び使用料を納付していただきます。

Q 牧之郷駅前広場の分割使用例と、設備拡充の計画を問う。

A 分割使用の場合は、ロータリー内の交通広場及び池の前の芝生広場を、別々に使用します。キッチンカーであれば、複数台利用することも可能です。



牧之郷駅前広場

A 請求者が市に申請し、必要書類を確認してから、県を経由して国に届けます。資料に基づき、外部の専門家で構成される疫病・障害認定審査会で、因果関係を判断する審査が行われ、審査結果を請求者にお知らせします。

◆令和6年度伊豆市一般会計 補正予算（第3回）

質疑

Q 白岩の湯施設改修工事の送湯管の内容は。

A 湯の花が蓄積しやすい源泉付近を中心に調査し、源泉から50メートルまでの間に詰まりの原因が特定できました。送湯管の修理と雨漏り（浴室）、排水管などの水漏れ修理と合わせて工事を予定しています。



白岩の湯



討論

◆伊豆市議会の議員の定数を定める条例の一部改正について

反対討論 ◆杉山 武司 議員

議会の活性化を図り、議員の資質の向上を目指すことが本来の特別委員会の本務で、自ら制定した条例を遵守せず、削減2名分の報酬を14名で分配することが委員会の最終目的で、誠に身勝手な考えである。市民有権者の0.5%にも満たないアンケート回答数121件が多いとの委員長の発言は、市民の負託を受けた議員の言葉か。再審議を求めます。

賛成討論 ◆下山 祥二 議員

常日頃から、当局に対して人口減少対策や行財政改革を訴えている議員自らが、身を切る議会改革を推し進めず、市民の皆さまからの理解が得られるでしょうか。議員定数の2名削減は、至極当然なものであり、既に十分議論は尽くされたと判断しています。議員各位の賢明な判断と、賛同をお願いします。

討論は6件（賛成3反対3）ありました。詳細は7月1日の録画配信をご覧ください。

IZU 未来

三田 忠男 議員



所信表明の真意を問う

答弁

5期目を迎えて、これまで以上に市民や職員の声に耳を傾けて、「①人口減少対策、②公教育の選択の確保、③経済活性化の産業振興、④行政DXと公共施設再編成」などを掲げていますが、真意を伺います。

①空き家の活用、抜本的改善、都市整備の推進、良き移住者の先例について広報の充実を図ります。②伊豆市学校部活動在り方検討委員会を設置し、検討中で、10名の部活指導員を会計年度任用職員として任用しています。③観光を産業として、しっかり位置づけたいと考えます。新たな知事と、伊豆半島7市6町が共有できればと期待しています。④行政が使う予定のない施設を放置することは、市民負担を増やします。そのため、速やかに再編成することが市民の公益に叶うことになりま。



動画はこちら

市政を問う

～一般質問～



録画配信へ



パソコン

伊豆市議会 ライブ中継

検索 からご覧ください。



Android スマートフォン

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。



iPhone アイフォン

カメラアプリを起動して QRコードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、全ての一般質問の様子を動画で見ることができます。

会派代表質問 Question

市長の所信表明に対して

答弁

①人口減少対策、伊豆市の人口は国の社人研によると、2045年には1万5152人と予想され、消滅可能性自治体と衝撃を与えました。どのような施策が必要ですか。

②災害死者ゼロを目指す防災が市長の公約ですが、防災訓練は各地区により違いがあります。どのような指導、監督をしていますか。

①人口減少対策、産業振興、行政改革のいずれにおいても、課題は「スピード」です。必要な施策を速やかに練り上げ、実行していく姿勢を共有したいです。

②防災訓練は、毎年4回実施しています。9月の総合防災訓練では、各地区の要望に応じ、資機材の貸し出しや、訓練指導員の派遣などを実施しています。また、防災指導員の研修会の開催、防火知識の普及や自主防災会の育成指導なども行っています。



動画はこちら

伊豆クラブ

星谷 和馬 議員



答弁

市の若手職員が中心となり手がけ、市内の児童・生徒の投票により決定した、伊豆市20周年エンブレム。これからの伊豆市を担っていく世代が、市の象徴を考えるきっかけは、郷土愛を育む一つとして大きな成果だと考えます。そこで、20周年を機に市章も市民から公募するのはいかがでしょうか。

市制20周年記念エンブレムは、とても良い物を作ってくれたと若手職員を高く評価しています。できれば、これをモデルに市の新たな「旗」を製作することはできないでしょうか。欧米では自治体の「記章」と「旗」を別に制定していることが珍しくありません。現在の伊豆市章は、シンプルで記章にはとても良いと思いますが、旗には少しシンプルすぎるとも感じます。なんらかの手段で、主権者である市民の皆さんの、ご意見を伺うことをしたいと考えています。



市制20周年記念エンブレム



動画はこちら ※他の質問あり

波多野 靖明 議員



会派代表質問 Question

質問 Question

伊豆市20周年エンブレムと市章

質問 市長の福祉への取り組みを問う



小川 多美子 議員

5期目を迎えた市長の所信表明を拝聴しましたが、その中に「福祉」の文言が見当たりませんでした。「障がい者福祉」「高齢者福祉」「在宅医療」「ヤングケアラー」その他、健常者であっても福祉のお世話にはなりません。市長は、福祉を置き去りにしていないと思いますが、なぜ所信表明で触れなかったのか真意を伺います。

答弁

福祉とは「人の幸せ」という意味であり「高齢者福祉」や「障がい者福祉」に限定されるものではありません。憲法には「公共の福祉」が記載され「社会全体の共通の利益であり、他の人の人権との衝突を調整するための原理」と解釈されています。市長としては「市民の福祉」を掲げる項目として「災害死者ゼロ」をシンボルとしました。「災害死者ゼロを目指す」ことは、普段の生活における福祉政策そのものになります。



動画はこちら

質問 教員を取り巻く社会状況と現状



永岡 康司 議員

教育は、学校・家庭・地域社会の三者が適切に役割を分担して行なわれるべきです。教員に過度の期待が寄せられ、多くの業務を抱えて本来の教育活動に専念できない状況が発生しています。①教員不足の現状②教員不足の原因③教員不足による教育活動への影響④教員不足解消への取組や教員のストレス対応はどうしていますか。

答弁

①市内において、教職員の定数に対し不足はありません。②労働条件の厳しさ、採用試験の受験者減少、早期退職者の増加などです。③業務量の増加により生徒への個別指導が難しく、教育の質の低下が懸念されます。④仕事の魅力を認識していただき、長期の傷病特休・出産・育児休暇など安心して休める環境整備が必要です。過大なストレスを抱えていると思われる教職員に対しては、必要に応じて専門家と連携し、ストレス解消に向けて取り組みます。



動画はこちら
※他の質問あり

質問 深刻化する孤独・孤立問題の対策をいかに



杉山 誠 議員

孤独・孤立をめぐる問題は、独居世帯の増加や近隣・家族関係の希薄化などが背景にあり、近年はコロナ禍の影響で深刻化しています。当市における単身高齢者やひきこもり、不登校の実態と、その相談体制や支援の仕組みはどのようになっていますか。また、国が推奨する孤独・孤立対策地域協議会設置についてはいかがですか。

答弁

単身高齢者は、本年4月1日現在で3160人、10年間で約900人増加しています。ひきこもり実態は把握できませんが、現在26人の支援を行っています。不登校は小学生19名、中学生40名と増加傾向です。学習支援教室を開設し、生徒が社会から孤立しないように支援しています。高齢者などは、地域包括支援センターで相談を受け、支援しています。孤独・孤立対策地域協議会の設置は、重層的支援体制整備事業でも包括的な支援を図っていくため、既存の会議体の活用も含めて検討します。



動画はこちら
※他の質問あり

質問 狩猟文化



動画はこちら
※他の質問あり

答弁

森林管理署と狩猟者との情報交換の場は、設けていないと伺っています。鳥獣の被害防止と捕獲を適切に推進するために設立した「伊豆市鳥獣被害防止対策協議会」では、狩猟者で構成する市の有害鳥獣捕獲隊が参画し、伊豆森林管理署にはオブザーバーとして参画いただいていますので、こうした機会を通じて狩猟者と森林管理署との情報交換や協議の場を、つくっていききたいと考えています。



浅田 藤二 議員

伊豆地域において歴史をたどると、狩猟はまさに文化としてこの地域に根付いてきたものではないかと考えられ、狩猟を通じて地域と国有林を管理する森林管理署が、情報交換や相互の助け合いを活発に行っていたことが伺えます。現在の情報交換の状況は。

質問 高齢者が住み慣れた地で安心して暮らすには



小長谷 順二 議員

能登半島地震による石川県での犠牲者は、7割を超える方が65歳以上の高齢者であることが判明し、ほとんどは家屋倒壊で亡くなったと報道されており、家屋倒壊などの対策が急務となります。高齢者の安全・安心な暮らしを守るために、住宅耐震改修や高齢者世帯の見守りについて伺います。

答弁

当市では静岡県の「TOUKAI-0（ゼロ）」事業を実施し、無料の耐震診断及び耐震補強工事への補助を行っています。しかし、令和7年度末でこの事業が終了となるため、事業が継続されるよう引き続き要望します。高齢者の見守りは、安心して地域に住み続けられるように、訪問や配達を行う事業所や公共交通機関を中心に「安心見守りネットワーク事業」と、地域包括支援センターによる個別の見守り、民生委員や地域の方のつながりによる見守りなどを行っています。



動画はこちら
※他の質問あり

質問 小児医療の現状とこれから



間野 みどり 議員

令和5年の9月、中島恵子先生が引退されました。市民からは、今までの業績に対し感謝の気持ちが大きく伝わっています。しかし、市も今後の不安に対し新しい施策など考えていると思いますが、現在の医療体制や今後の方向性は、どのような工夫をしていったら良いかを伺います。

答弁

現状は、5つの病院と10の診療所があり、そのうち小児科を標榜しているのは病院、診療所合わせて5つあります。今年度から、市内の公的病院における夜間小児科診療に対して補助を行い、市にとって必要と判断される場合は、小児医療体制を確保する必要があると考えています。令和4年の制度改正により、紹介状を持たず200床以上の病院を受診した場合、初診料に加算が行われます。市民の皆様は各医療機関の機能、役割を理解してもらい、まずお住まいの地域の機関を受診していただきたいと思います。



動画はこちら
※他の質問あり

FMISで一般質問を放送中

6月定例会の一般質問は、7月1日から5日まで放送しました。伊豆市議会のホームページ(FMIS議会広報アンケートの回答フォーム)から、放送内容に関してのご意見・ご感想を募集中です。皆様の貴重なご意見をお聞かせください。 ※回答時間は1分程度

放送日 会期後の5日間(月～金)
放送時間 17:30から10分程度
内容 ・1日1人、5名分放送
・議会だよりで取り上げる質問を放送

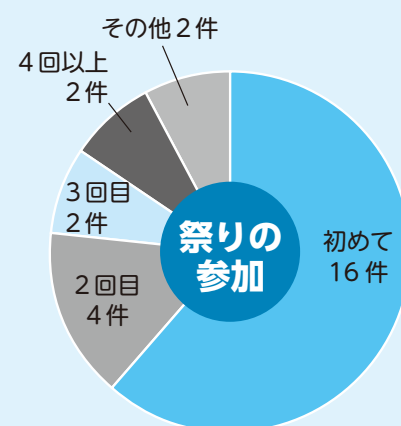


※スマートフォンアプリ
Radimoでも聞くことが
できます。



アンケート募集!

議会広報委員会インタビュー② ～萬城の滝まつりを訪ねて～



伊豆市に対して感じること

- 子育て支援が充実している。
- 運動できる公園があると良い
- 良い所が多くあるのに…宣伝の工夫が必要?!
- イベントを増加してほしい

議員への質問

Q「仕事内容で大変なこと」

議会の議決により市民の安心安全な生活が保たれると考え、その重責を感じながら取り組んでいます。

Q「少子化を考えて欲しい」

伊豆市の子育て施策は充実していて、医療面でも市内の病院で時間外に小児科を設けてくださったりと努力を感じます。議会としてもより良い政策の提案ができるよう努めます。

Q「議会報告会は」

議員の活動報告や、皆様の考えをお聞きするため年に一度開催しています。今年度は、議員数について話し合い、昨年度は、PTAや伊豆総合高校の生徒さんで行いました。

Q「裏金もらっているか」

絶対にありません。

■ 広報委員会から／副委員長 鈴木優治

天城山系に降る清水を集め瀑布となり流れる萬城の滝、5月26日(日)に開催された萬城の滝まつりを広報委員会として取材しアンケート調査も実施しました。裏見の滝は実現しませんでした、滝見ロードが完成しました。間近で滝をみる感動「マジか!」、オープンセレモニーには市長、地元の議員、地元子どもたちによるテープカットも行われました。まつりの弥栄を願いつつ。

質問 Question 水道事業の災害対策と描く将来像は



黒須 淳美 議員

令和6年元日に能登半島を襲った地震は、自然災害の恐ろしさを思い知らされるものでした。
災害からの復旧に欠かせない水道について、伊豆市の浄水場や水道管の老朽化率、耐震化の状況は。また、安全安心な水の提供のため、財源としての水道料金の値上げは、将来的に検討が必要と考えますか。

答弁

市内水道施設の平均経過年数は約40年と老朽化が進み、水道管も老朽化率約56%という現状です。また、水道管の耐震化は、地震などの揺れに対応できる水道配水用ポリエチレン管を布設し、耐震化を順次進めています。

水道料金値上げの検討は、令和6年度に完成する伊豆市水道事業ビジョン及び経営戦略にて、水道料金改訂を視野に入れて検討をしています。そのため、まずは水道事業の厳しい現状を理解していただきたく、「伊豆市の水道の現状と課題」について、市民説明会開催を予定しています。



動画はこちら
※他の質問あり

質問 Question 伊豆市長選挙の総括と今後の市政運営



鈴木 正人 議員

市長は所信表明演説の冒頭で「市民の皆さんから信任を頂き・(後略)」と述べられました。過去最低の投票率と過去最高占有率の「白票」を含む無効投票数を踏まえると、市民の大半が信任をされたかについては疑問です。市民の「5期目」に対する視線が厳しいなか、市民との向き合い方、今後の市政運営について伺います。

答弁

低投票率だったことは、とても残念に思います。憲法の重要な理念として「国民主権」があり、投票によって行使されます。逆にいえば選挙のみが唯一の主権行使になるので、可能な限り放棄されるべきではないと思います。他方、我が国では公正な選挙はしっかり担保されており、反対の意思表明を阻害するものはありません。私が市長であることに反対の方は、なんの障害もなく反対票を投ずることが可能であった状況下でした。



動画はこちら
※他の質問あり

政務活動費の報告

政務活動費とは、議員の調査研究その他活動に資するため必要な経費の一部を交付するもので、地方自治法に基づき、条例で金額、用途の範囲などを定めています。伊豆市議会では、会派及び会派に所属しない議員に対し、1人当たり月額15,000円を交付することとし、議員の資質向上のための調査研究や資料購入などに活用しています。

また、経費の範囲や用途について透明性の確保に努めるため、各会派及び議員の会計資料(領収書、収支明細等)を公開しています。



政務活動費はこちら▲
(円)

令和5年度政務活動費の執行状況

会派・個人名	所属人数	収入		支出					返還額
		交付金	調査研究費	研修費	資料購入費	広報費	事務費	支出計	
I Z U未来	11人	1,980,000	1,490	924,853	333,862	66,209	3,338	1,329,752	650,248
伊豆クラブ	4人	720,000			200,000		4,887	204,887	515,113
杉山武司		180,000			176,315			176,315	3,685

アンケートを実施中！

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webからも回答できます

ここから1分程度の簡単なアンケート



前回号アンケートにて、ご意見をいただきましたのでご紹介します。(※ 回答一部抜粋)

良

- ・議員と市長、担当課の質疑応答がわかりやすく、毎号隅々まで読んでいます。傍聴は簡単に行けないため、議会だより等で議会の様子が市民に伝わることは大事。(★★★★★ 60代 二拠点生活者様)
- ・毎号読んでいます。(★★★★★ 70代)

悪

- ・毎号読んでいます。(★★★★☆ 60代 たか)
- ・ときどき読んでいます。(★★★★☆ 50代 ひろ)

他

- ・読んでないのでわからない。(☆☆☆☆☆ 30.40代)

普

- ・記事に関心があるときに読んでいて、内容は分かりやすい。高齢者支援策に期待。(☆☆☆☆☆ 70代 伊豆遍路をもっとアピールして活性化様)
- ・発行頻度を増やし、少し字を大きくして欲しい。(★★★★☆ 50代 ブリーフ団YO様)
- ・議員定数について興味がある。議員16人に対して質問していない人が多いのはなぜか。一般質問は1つだけでも質問必須にしては。(★★★★☆ 30.40代)
- ・各工事の具体的な金額や、なぜ行かうどこからの要望なのか？(★★★★☆ 70代)

未回答

- ・ほとんど読んでいない。(☆☆☆☆☆ 50代 ピカチュウ)

広報委員会委員から

今後もいただいたご意見を大切に、傍聴に来られない方々にも分かりやすく、また見やすい紙面作りを心掛け編集していきます。多くのご意見ありがとうございました。

9月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
8/26	27	28	29 本会議初日	30	31	9/1
2 本会議2日目 (一般質問)	3 本会議3日目 (一般質問)	4 本会議4日目 (一般質問)	5 本会議5日目 (議案質疑)	6	7	8
9 連合審査 (総務経済委員 会所管分)	10 連合審査 (教育厚生委員 会所管分)	11 総務経済委員会	12 教育厚生委員会	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 本会議最終日	26	27	28	29
7/1 本会議最終日 議会広報委員会	2	3	4	5	6	7

編集後記

10月には、市議会議員選挙が行われるため、現在の広報委員で編集する議会だよりは、次回で最後の発行となります。今定例会の条例改正により、定数が2名減になり、討論がありました。紙面にも掲載がありますが、HPに録画配信もありますので、詳細をご覧ください。

今回はインタビュー企画の第2弾として、萬城の滝まつりで取材した内容を掲載しました。第3弾も企画していますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

議会広報委員 三田 忠男

6月

議会広報



6月7日の FMIS生放送で、杉山誠議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は8月末に9月定例会のお知らせをします。

議会傍聴のご案内

本会議はどなたでも傍聴ができ、生中継と録画配信も行っています。



お問合せ先(議会事務局)

Tel. 0558-72-9906

▲アクセスはこちら



次回は令和6年11月1日発行予定です。
議会ホームページ

編集 〒410-2413 静岡県伊豆市八立野38-2
伊豆市議会広報委員会 ☎0558-72-9906

発行 伊豆市議会

伊豆市議会だより